

2021年10月16日（土）  
浜松市地方創生政策アイデアコンテスト2021  
浜松市地域情報センター

# 浜松市の中山間地域における 地域資源・技術（狩猟）を活用した 定住促進施策

—「狩猟塾」と「狩猟体験ツアー」の提案—

1

中山間地域応援隊

静岡文化芸術大学 文化政策学部 文化政策学科

3年 鈴木義人 八木彩樺

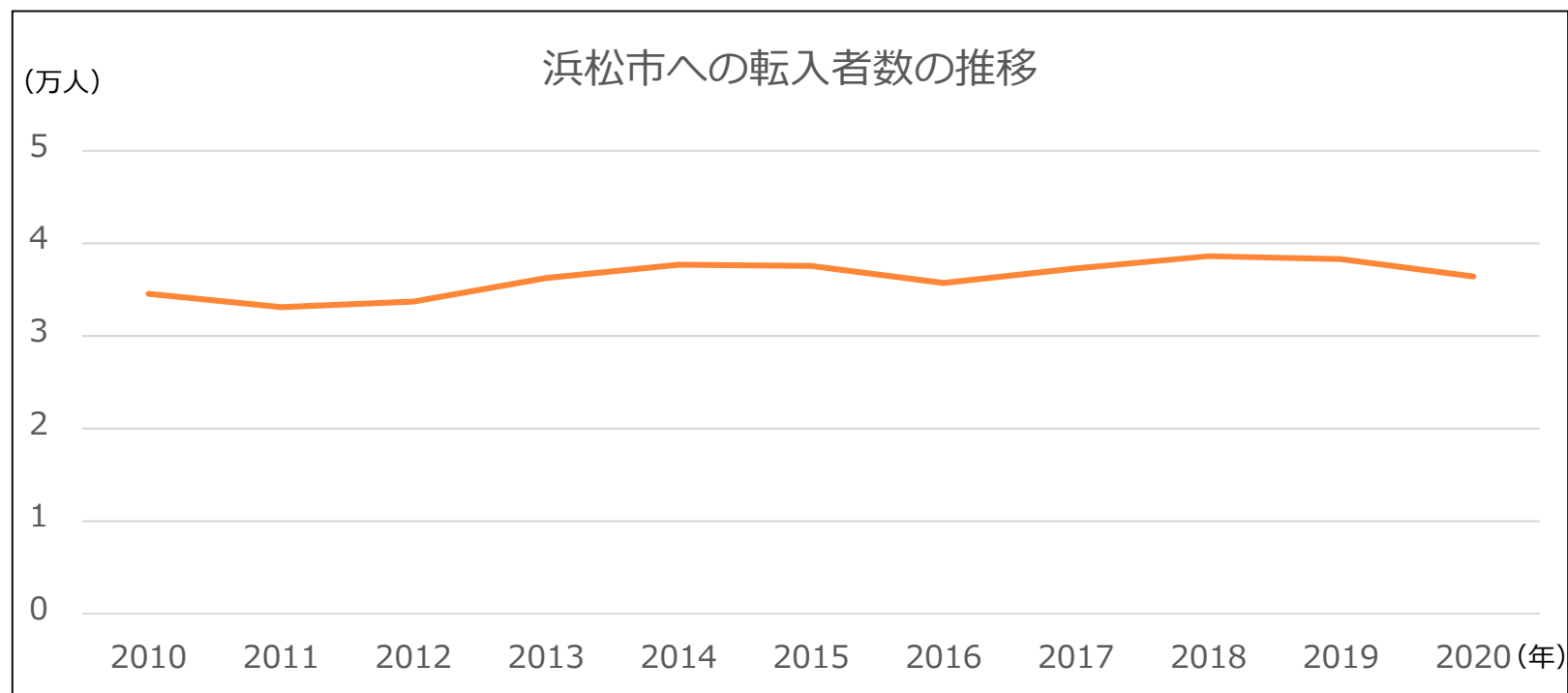
2年 小淵康成 高橋明日香

# 1. 浜松市の現状

## ○ 浜松市の強み・魅力

- 「都市部から中山間地域まで、全国に類を見ない多様性」
- 「自ら人間力を高めた人財が、誇りを持って浜松を支えている」

※ 浜松市HP「都市の将来像」

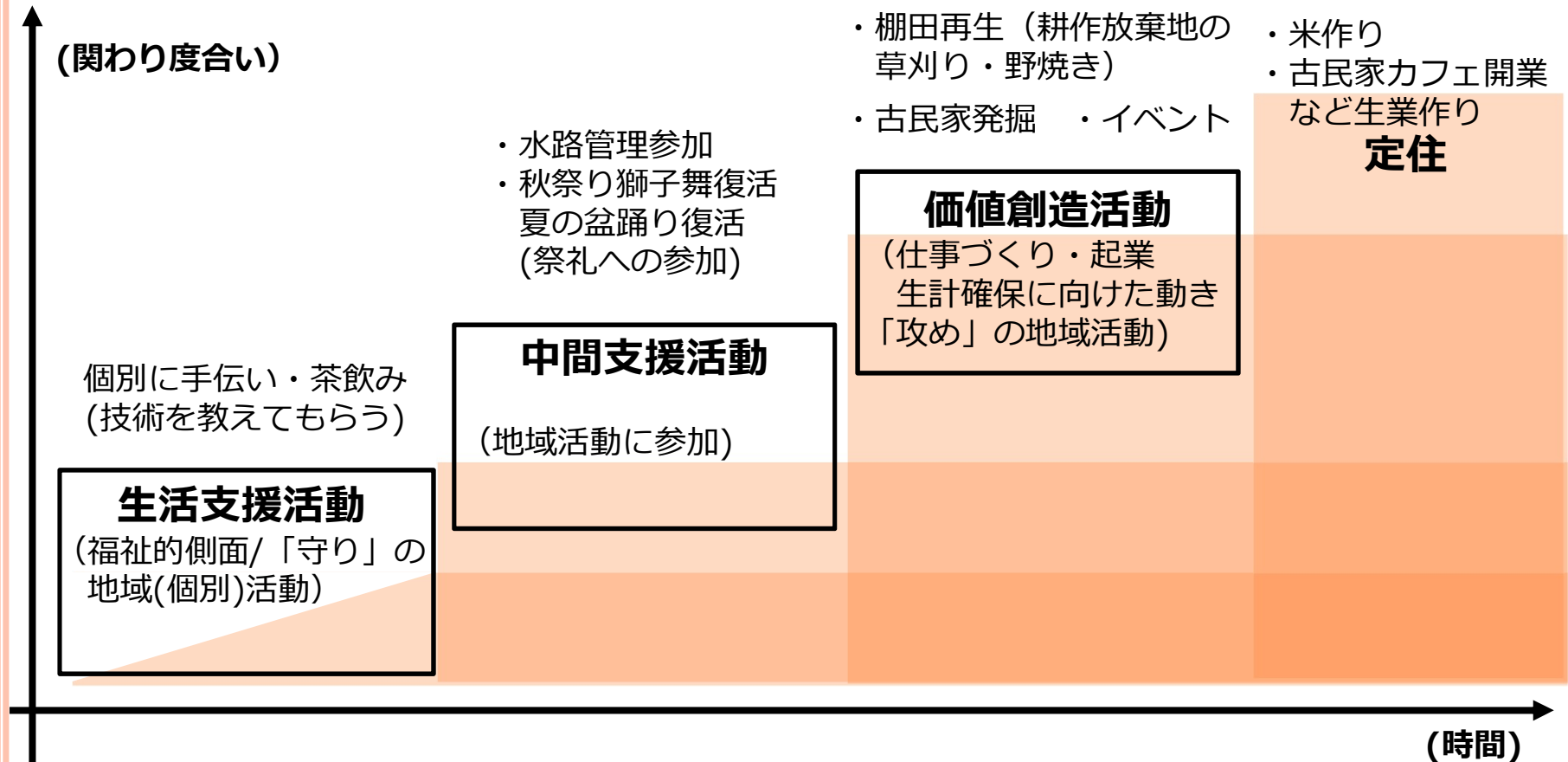


※ 住民基本台帳より作成

**転入者数は横ばいである**

## 2. 定住へ向けて

### ● 図司直也（2013）による地域への関わり方の変容



※ 図司（2013）より作成

人々は“段階的”に地域と関わり始める

### 3. 思い描く浜松市の将来像

#### ○ 定住者が増加していくまち

- 定住に向け  
“段階的”に関わることができるまち
- 定住後も地域における伝統文化について  
知ることができ、地域独自の技術を  
身に付ける機会が存在するまち
- 長年地域で生きてきた先輩から  
多くの知恵を若い世代が受け継ぎながら  
新たな価値を生み出すまち



“ヒト” “モノ” “コト(文化)” の循環で  
新たな価値を生み出し続ける

## 4. 狩猟に関する現状

- 狩猟…野生の鳥獣を銃やわな・網などを使って捕獲すること ※1

- **鳥獣被害の拡大**

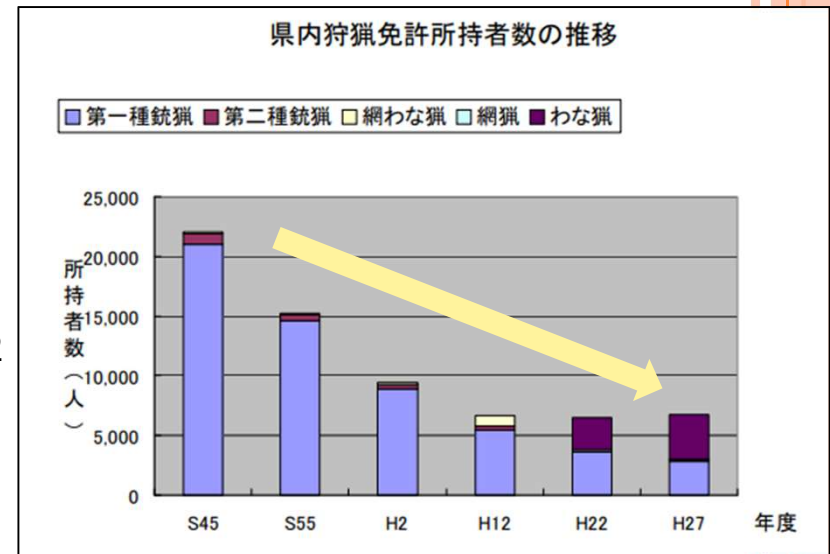
被害面積：124.7 ha 被害金額：3,877 万円 (平成29年度) ※2

- **狩猟免許所持者数について**

「**猟友会員の減少や高齢化**により、今後の捕獲活動の継続が懸念され、**新たな担い手確保が急務**」

「**新規銃猟免許取得者が非常に少ない**」 ※2

静岡県内においては狩猟免許所持者の**約6割が60歳以上**である ※3



※ 『狩猟免許取得ガイドブック』

**狩猟者の高齢化・担い手不足が深刻である**

5

※1 一般社団法人 大日本猟友会HP「狩猟への誘い」

※2 「浜松市鳥獣被害防止計画（平成31年度～33年度）」

※3 『狩猟免許取得ガイドブック』

## 5. 狩猟の意義と狩猟者の役割

### ○ 狩猟の意義

「田畑などを荒らす鳥獣を捕獲（駆除）すること」

「増えすぎた鳥獣の数を間引くこと」

→ 重要な狩猟の役割

⇒ 単なる捕獲・殺生ではなく、生息数の調整などその管理を内在

### ○ 狩猟者の役割

・シカ・イノシシなどの生息数の増加により、  
貴重な自然環境や農林水産業に大きな影響(被害)が及んでいる

・クマやイノシシなどが生活域に出没している

→ 「野生鳥獣の保護・管理の担い手」として個体数を調整し

住民の安全を守る「社会的役割」が増大

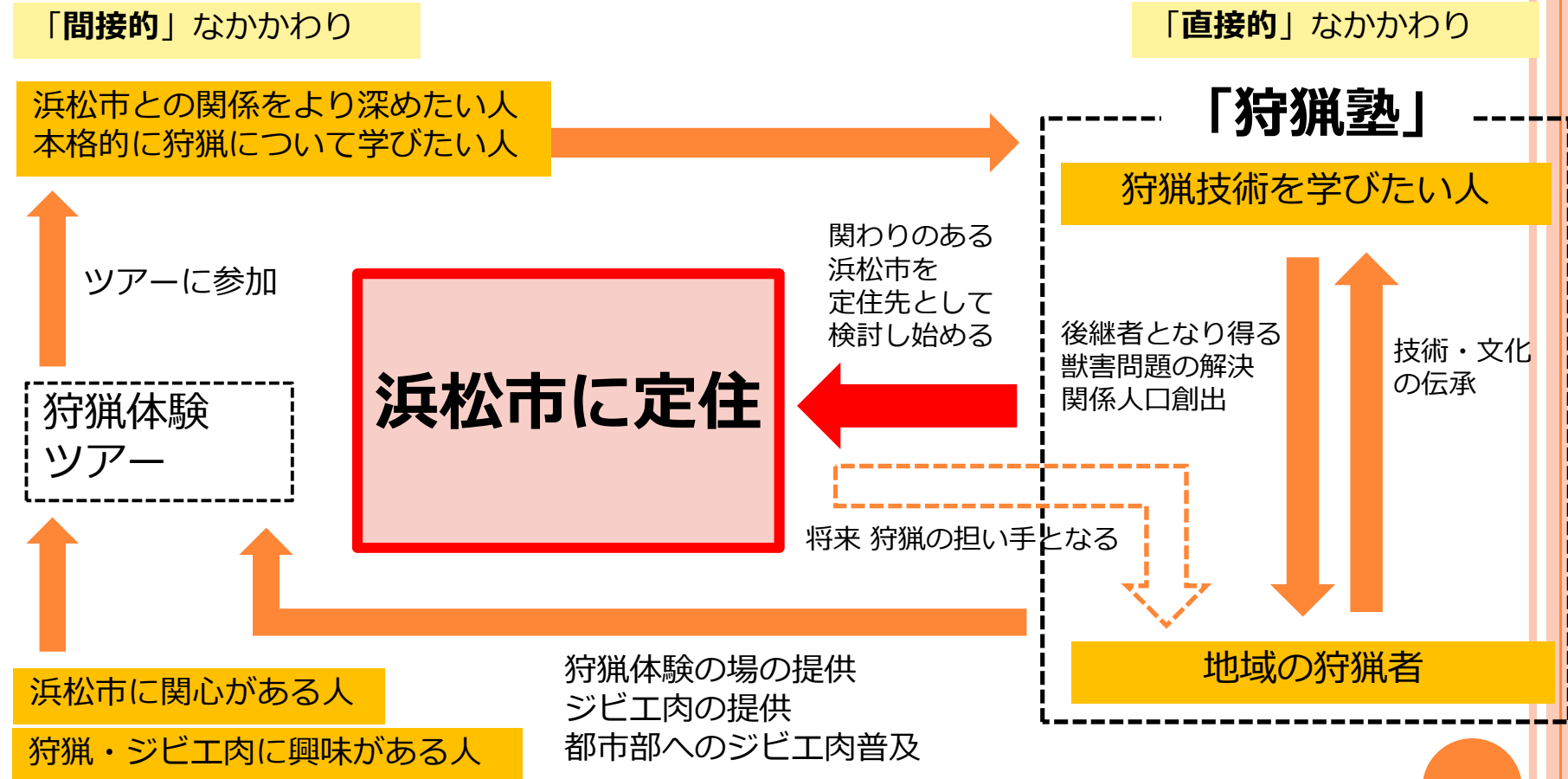
・地域の自然環境に精通する「自然のモニター」

→ 「野生鳥獣の調査に協力することも大切な役割」

**狩猟は社会貢献の手段の1つとして位置づけられる**

## 6. 狩猟を通じた定住促進モデル

- 「狩猟塾」を介して「間接的」→「直接的」な関わりへ



狩猟を介して“段階的”にネットワークが広がる

## 7. 狩猟塾・狩猟体験ツアーの概要

	狩猟体験ツアー	狩猟塾
概要	狩猟を観光資源としたツアー ・ 狩猟現場／野生鳥獣の解体を見学 ・ ジビエ料理を食べる ・ 地域の文化を体験する	静岡県西部猟友会の会員が 参加者に狩猟に関する技術・文化を伝達 ・ 狩猟者に狩猟に関する話を聞く ・ 狩猟現場／野生鳥獣の解体を見学 ・ 実際に狩猟に同行する
活動回数	11月15日～2月15日 (浜松市が定める狩猟解禁期間内) ・ 日帰りツアー	11月15日～2月15日 (浜松市が定める狩猟解禁期間内) ・ 日帰りの見学 ・ 1ヶ月に1度程度地域に通い続ける (週末の土日、1泊2日などで) ・ 期間内に泊まり込みの合宿を行う いずれかの方法をとる
ターゲット	・ 浜松市に関心がある人 ・ 狩猟やジビエ肉に興味がある人	・ 浜松市との関係をより深めたい人 ・ 本格的に狩猟について学びたい人
活動の目的	ジビエ肉の消費者としても 観光客としても、狩猟者としても 「狩猟」「地域」に触れ 関わっていく機会となる	狩猟技術の習得・継承と 将来的な狩猟者の育成



## 8. 提案する定住促進施策

### 【スケジュール案】

1年目	初期計画
2年目	「はままつ狩猟体験ツアー」開催 「狩猟塾」開講
3年目	地域との関係を深めていく
4年目	地域に頻繁に通うようになる (関係人口の創出)
5年目	浜松市に定住し始める (定住人口)

### 【概算費用案】

	費用 (円)
人件費	600,000
講師費	400,000
その他	100,000
<b>合計</b>	<b>1,100,000</b>

## 9. おわりに

### ① 浜松市との“段階的な”関わりをつくる

- 狩猟体験ツアーにおける地域（浜松市）との**間接的**な関わりと狩猟塾における**直接的**な関わりの段階がある
- 狩猟を通じた地域とのネットワークが構築できる

### ② 狩猟が、関わり構築+地域課題の解決+社会貢献になる

- 狩猟塾が、地域との関わり構築・新規狩猟者の育成をサポートし狩猟者の高齢化・担い手不足という地域課題の解決と社会貢献になる
- 定住希望者が、地域における技術や文化に触れることによって新たな価値が生まれていく

**狩猟体験ツアー・狩猟塾が**

**“段階的”に地域（浜松市）に触れる機会となる**

⇒ **定住につながっていく**

⇒ **地域課題の解決と伝統が継承される場となる**